

公共政策・実務の最前線を届ける情報誌



公共空間

【特集】令和 新しい時代の公共政策 2020年 冬号 vol.18



公共空間 vol.18 目次

特集インタビュー

令和 新しい時代の公共政策

02

元銀行員が挑む新しいまちづくり

桜井まちづくり株式会社 社長 岡本健

06

農から考える心豊かな社会

農民詩人 星寛治

15

多様性を認め合う社会を 実現するために

立憲民主党 参議院議員 石川大我

23

社会の持続可能性と働き方改革

京都大学大学院経済学研究科 教授 久本憲夫

学生寄稿 27

学生生活を振り返って

京都大学公共政策大学院十三期 櫻本航

学生論文 30

米国通商政策の国際法的分析

～WTO体制は自由貿易の守護神と
しての機能を全うできるか？～

京都大学公共政策大学院十三期 大川順

自主活動紹介 36

安全保障フォーラムの概要と 今後の展望

京都大学公共政策大学院十三期 小山貴大

京都大学公共政策大学院十四期 高橋祐介

皆様こんにちは。『公共空間』編集委員会です。

今号の特集は「令和 新しい時代の公共政策」です。
2019年は元号が変わり、社会の在り方を見つめなおす議論が
いつにも増して盛んになりました。本特集においては、
多様な分野からの記事をもとに、これからの社会を描いていくうえで
何を大切にして、何を变えていくべきか、考えていきます。

本記事が令和の時代の公共政策を問うきっかけとなれば幸いです。

編集後記

三品「テーマ策定から取材・記事執筆まで全て初めての試みであり、貴重な経験をさせて頂きました。また、多くの方のご協力なくして本誌を完成することはできませんでした。皆様本当にありがとうございました！」

中井「大学院修了を前に、一つ形に残るものを作れたことを嬉しく思います。取材に協力してくださった皆様、本当にありがとうございました。」

益塚「当初はちゃんとカタチになるのかという不安もありましたが、無事に編集を終えホッとしています。取材・執筆にあたり協力してくださった皆様、ありがとうございました。」

森田「日帰りで山形に取材に行ったことは良い思い出になっています。初めての取材と編集で拙い部分が多々ありましたが、お付き合いしてくださった皆様、ありがとうございました。」

雑誌『公共空間』学生投稿募集について

『公共空間』二〇一九年（通巻第十八号）

雑誌『公共空間』は学生投稿枠を設け、皆さんの原稿を募集します。

発行人 『公共空間』編集委員会

編集長 三品秀祐

編集委員 中井諒

1. 内容

公共政策に関するものであれば、テーマは自由です。授業で作成したレポートやプレゼンテーション資料を用いても構いません（ただし、文書形式でお願いします）

益塚真哉

デザイン 森田花歩

編集顧問 岩本武和

編集協力 公共政策大学院掛

2. 字数と書式

3500～4500字程度。書式は自由

京都大学公共政策大学院

『公共空間』編集委員会

〒606-8501

京都市左京区吉田本町

京都大学法学研究科公共政策大学院掛

4. 応募条件

本大学院に在学する学生であること

「京都大学学術情報リポジトリ 紅」

<https://repository.kulib.kyoto-u.ac.jp/dspace/>

にも掲載

5. 応募宛先

『公共空間』編集委員会にお問い合わせ下さい

